

設立15周年を記念して、ふるさとを訪問 札幌南ふらの会

札幌市や札幌生活圏に在住する方々により結成されているふるさと会「札幌南ふらの会」が本年で設立15周年を迎えたことを記念して、例年札幌市で行っている総会と懇親会を今年度は「ふるさと訪問」と題して、6月25日に総合福祉センターで行われました。

今回ふるさとを訪問した会員の皆さんは29名、午前11時にバスに乗り札幌市を出発した皆さんは、午後3時ごろ本町へ入り、金山ダム管理所とダムの提体内を見学し、宿泊先のログホテルラーチを経由して、総会の会場へと向かいました。



山名会長



懇親会

総会では、平成16年度事業報告と決算報告を承認、平成17年度事業計画と予算などが採択されました。

総会終了後は、来賓や地元からの参加者43名を含む78名が集い懇親会が開催され、幾寅獅子舞保存会の皆さんによる町無形文化財「幾寅獅子舞」の披露や、昭和43年の金山ダム建設以

降の本町の移り変わりを紹介する歴史スライドショーが上映され、会場の皆さんから南富良野町の発展に大きな拍手が送られました。会員の皆さんは地元での久しぶりの再開で昔話や近況報告に花を咲かせて、楽しい時を過ごしていました。懇親会の料理には、会員で料理研究家の星澤幸子さんが考えた、地元の食材を使ったメニューもテーブルに並び、ふるさと訪問に花を添えました。



南ふらの会の益々の発展を祈念して



懇親会の参加者全員で記念撮影



山名会長が建立した歌碑を見学

翌日の26日には町内施設見学会が行われました。池部町長がガイド役を務め、午前9時に宿泊先を出発し、かなや湖畔に山名会長が建立した歌碑を見学した後、車窓から北落合の田園風景を見ながら落合に入り、串内牧場へ到着。時折り雨が降りガスがかかった天候で、広大な牧場風景を満足に見ることはできませんでした。札幌では味わえない豊かな自然に感動している様子でした。この後、ラフティングが行われている空知川を見学し、幾寅ではぼつぼやロケ地を見学しました。会員の中には駅の



幌舞駅のホームで昔を懐かしむ皆さん

ホームに立つて、学生時代に汽車で通学していたことを懐かしむ方もありました。最後に物産センターで札幌に住む家族や友人への土産を購入し、ログホテルラーチで昼食を取り、ふるさとをあとにしました。

会員の皆さんは、「こんなすばらしいまちの出身であることに誇りをもった」「今後もこの緑豊かな自然を守り続けてほしい」「厳しい時代だからこそ知恵を出して、この自然を生かしたまちづくりをしてほしい」などと、ふるさとへの思いを話していました。2日間のふるさと訪問、大変お疲れ様でした。



模擬火災訓練

消防の基礎訓練を演習し、規律正しい消防技術と団体行動の迅速適正を図るとともに、消防人としての資質の向上と士気の高揚を期し、本町消防組織の強固なる団結を図り有事に対処することを目的に、毎年行われている富良野地区消防組合南富良野消防総合演習が7月3日、各分団の消防団員、消防職員併せて91名が参加

するなか、地域交流センターグラウンドを会場に行われました。分列行進で始まった総合演習は、開会式に引き続き陸上自衛隊上富良野駐屯地第4特科部隊第131特科大隊の協力により、消防との救急救助訓練が行われました。第131特科大隊は、本町および占冠村で災害などの有事が発生した場合に、派遣される部隊であることから、消防と初めての訓練となりました。訓練では、自然災害発生に伴う人命救助を想定し、自衛隊員が土砂崩れにより車の中に閉じ込められた人を救出し、救急隊員が被災者への応急措置を行うなど、迅速な機動力を本番さながらに展開し、来賓や見学していた町民の皆さんは、初めて見る訓練に固唾をのん



救急隊員による応急措置



自衛隊員による救出作業

で見守っていました。この後、各分団による小隊訓練や消防ポンプ操法、模擬火災訓練などが行われ、日頃の訓練の成果を十二分に披露しました。

有事に備えて 日頃の訓練成果を遺憾なく発揮 平成17年度消防総合演習